

令和5年12月定例会 一般質問 中村良路議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。（各議員からの「質問」（問）に該当する部分を黄色マーキングしております。）

「渋滞混雑する五位堂駅北側ロータリー解消策について」

○中村良路 改めまして、おはようございます。

今回、一般質問させていただきます。久しぶりの一般質問ということでさせていただきますので、よろしくお願いをいたしたいと思います。

今回は2点。1点目は渋滞、混雑する五位堂駅北側ロータリーの解消策についてということと2番目には地籍調査というこの2点をさせていただきたいと思います。いずれもこれは過去にさせていただいた質問になりますので、よろしくお願いをいたしたいと思います。

では、1番目の渋滞、混雑する五位堂駅北側ロータリーの解消策についてということで始めさせていただきます。

五位堂駅北側のロータリーにつきましては、平成27年3月議会にもこれは質問させていただきました。しかし、駅前ロータリーにつきましては、前回の質問させていただいてから以降もピーク時における車の混雑状況は以前からも変わらないような、そういう思いでございます。

朝夕の通勤通学の送迎で、電車が到着するたびに駅前ロータリーには自家用車が何重にも一時停止しているという状況にもなっています。特に雨の日などは、さらに自家用車が何重にも一時停車するという最悪の状況にもなっております。それと、駅周辺には学習塾もあり、塾の子供たちの送迎での車の一時停止もあると、そのようにも思っております。

これまでの駅北ロータリーの取組として、平成23年から平成26年にロータリーのバス乗降エリアやタクシー乗降エリアを着色するとともに、一般車両乗降エリアにつきましては、路面標示や、それぞれ分離する小規模の改修をされましたが、現在もなお混雑しているという状況は変わりはありません。先ほども申し上げましたが、8年前に一般質問してから現在までのロータリー内の車の混雑状況についてはほとんど変わっていないか、もしくは前以上の混雑をしているのではないかと、そのようにも思うところでございます。

このような状況下においては、駅前ロータリー内での人身事故、もしくは車同士の接触事故などが今も発生しているものではないかというふうに思うわけでございます。そこで、駅前ロータリー内の混雑が解消され、車の走行や送迎がスムーズにできるような方法をぜひとも考えていただきたいという思いでございます。

それでは、現在、ピーク時においてロータリー内では人や車が集中している状況についてはどのように市としては把握をされているのか、壇上からお聞きをいたします。よろしくお願いいたします。

○都市創造部長 市といたしましても、職員が現地確認させていただいた中でも、やはり車両の渋滞は発生しているというふうな認識はございます。

○中村良路 ありがとうございます。分かりました。発生してるっていうのは、もう当然認識はあると思います。

今回、再度質問させていただくに当たり、市民からは、雨が降っているので、たまたま五位堂駅に迎えに行ったら駅前ロータリーはすごい混雑状況になって怖かったという声をお聞きもいたしました。また、ピーク時において、五位堂駅北側のロータリーまで送迎したいんだけど、車が多いので行きたくないというふうな、そんな声も聞いております。何とかならないのかという市民の方もおられます。

それで、渋滞の原因や解消について市民からのそういった苦情や意見なども聞いたことは、そういったことはあるのかどうか、お聞きさせていただきたいと思います。

○都市創造部長 以前より一般質問においても取り上げていただいていることから、また香芝署のほうにも住民の方から同様の意見が来てるというようなお話も聞いておりますので、市民の方も同様の意見をお持ちであるというふうにご考えてございます。

○中村良路 ありがとうございます。分かりました。

私は市民から苦情をそういつて聞いたことがあって、今質問させていただいたわけですが、市民に聞かれたときなどは、ロータリーが狭いので、もう少し広がったらいいんですけどねっていうふうなことで言っております。香芝市のほうの利用よりも広陵町からの利用のほうが多く利用されているんですよっていうふうなことも伝えております。

ちなみに、前回、8年前にお聞きしたアンケート結果ですが、代表的な区域からの進入は真美ヶ丘が13.6%、西真美ヶ丘からの進入は12%、ほんで馬見地区からの進入は40.4%ということで、多く利用されているのはやはり広陵町側のほうが多いというふうに思っております。香芝市民は大体駅近くで歩いての利用のほうが多いのではないかというふうに、そのようには思うところでございます。

それでは、過去には人身事故や物損事故が発生したと聞きましたが、ここ近年3年間の事故の状況についてお聞かせいただきたいと思います。

○都市創造部長 香芝署に確認させていただいたところ、令和3年度は5件、令和4年度は9件、令和5年度は5件、これらの全てが物損事故でございました。

○中村良路 分かりました。やはり事故はいまだにあるということで、人身事故はなかったも

の、物損事故が発生しているということで、やはり何らかの措置が必要だと、そのように思うところがございます。事故がないほうが一番いいと思いますので、ぜひともよろしくお願い致します。

では、古くなりますが、昭和 60 年 10 月の作成の五位堂駅北側広場基本計画によると、駅前広場の規模算定式ではピーク時 10 分間の自家用車台数は 116 台と想定をされていたようですが、これは今から 38 年前のデータとなっております。

では、近々の交通量調査を実施されたのか、その辺はどうか、お聞かせいただきたいと思えます。

○都市創造部長 交通量調査ですけども、平成 25 年度に近鉄五位堂駅北側ロータリー出入口において交通量調査を実施しております。

○中村良路 ありがとうございます。

これも古い、10 年ぐらい前のというデータということですね。十年一昔というから、やはり古いデータとなっておりますが、データを何回取っても解消するというものではございませんので。

では、その交通量調査をされたなら、その結果はどうであったのか、その辺ちょっとお聞かせください。

○都市創造部長 10 年前の調査ではございますが、ピーク 10 分間の自家用車台数が 149 台となっております。

○中村良路 分かりました。先ほども申し上げましたように、今から 38 年前のピーク時 10 分間の自家用車が通る台数は 116 台というふうに想定されて、今から、今先ほど言っていたように、10 年前のデータではピーク時 10 分間の自家用車台数は 149 台ですから、差が 30 台強ですかね。今はまださらに、それ以上に増えてるのかなというふうに思います。今後、近々に交通量調査をしていただき、通行量を把握され、解決につなげるような整備ができるよう、お願いしたいと思います。

では、ピーク時において、駅前ロータリーは相当混雑していて、バスは危険を感じてクラクションなどを鳴らされることがございます。それで、バス会社やタクシー会社からのそういった混雑しているときの苦情などは聞かせていただいているかどうか、その辺をお聞かせください。

○都市創造部長 ロータリー内の渋滞解消や安全対策につきましては、事業者様からもお声が上がっている状況でございます。

○中村良路 当然、混雑しているので声は上がってるのと、そのように認識をいたします。

例えば具体的な内容としてはどのような苦情が上がっているのでしょうか。お聞かせください。

○都市創造部長 ロータリー内は、朝夕の通学通勤時には自家用車とバス、タクシーが入り乱れ、大変混雑しており、また夕方以降は通勤通学者に加え、付近の学習塾に通う子供を送迎する自家用車が何重にもなってバス降車場にまで駐車するため、バスから降車された方が停車車両の間を通り抜けることになり、大変危険な状況であるというようなお声が上がっております。

○中村良路 そうですね。確かに、やはり危険な状況が多々あると思います。利用される皆さん方は、やはり電車で早く乗りに行きたい、早く家に帰れる方は早く家に帰りたいという、そういう気持ちがあって、焦っておられると思います。焦っておられて、周囲が見えてるようで見えない、そういったことで事故につながるものだと、そのように思います。

では、混雑した時期は平成 17 年に奈良交通から駅前における混雑状況がバス利用者の減少を招く要因となっている可能性があるというこのご意見をもらって、その改善に向けた基礎データの収集、アンケート調査を行った。それで、混雑し出した時期は平成 17 年の前後ということで認識されていますが、最近バス会社やタクシー会社への聞き取りやアンケート調査をされたのかどうか、その辺をお聞かせいただきたいと思います。

○都市創造部長 事業者からの要望といった形でこれまでも協議の場は数回設けております。年に数回、事業者さんとお話しした中で、この渋滞解消するために何か方法はないかというような形で協議はさせていただいております。

○中村良路 分かりました。アンケートなどはされてなく、直接協議されて、そういった要望を聞いておられるということですか。そういったことも当然続けていただけたらと、そのようには思います。

それでは、年に 1 度開かれておられる奈良県の交通問題懇談会っていうのがございまして、そのときこのような状況については協議をされてるかどうか、その辺をお聞かせください。

○都市創造部長 これまでも交通問題に関する協議事項及び要望事項として、五位堂駅北側ロータリーについては取り上げられております。

○中村良路 分かりました。

平成 23 年から平成 26 年にバス乗降エリアやタクシー乗降エリアは着色をするとともに、一般車両乗降エリアは路面標示を行い、それぞれを分離をさせたということで、さらに平成 27 年度予算で詳細設計を行い、平成 28 年度から 29 年度に駅前広場の改良工事を実施したいと考えていますということでした。基本的な考えとしては、バス乗降位置やタクシーの待機位置の変更、動線分離による歩道の一部改良、交通島の撤去など、大規模な改修となる予定でございますという答弁でございましたが、それで改修はできたのでしょうか。その辺をお聞かせください。

○都市創造部長 市といたしましても解消に向けて計画していたところですが、地元自治会と

の打合せの中で、歩道幅員を減らさず、事業費が最小限になるような方法での計画を再度検討してほしいという声をいただきました。その中で、まずは歩道のバリアフリー化工事を先に優先してさせていただきました。その後、一般車両とバス、タクシーがふくそうすることなく分離を検討しているところではございますが、なかなか妙案が浮かばず、それ以上進んでいないのが現状でございます。

○中村良路 ありがとうございます。

歩くところをバリアフリーってということで、植栽されておったんで、木の根が出て歩きにくいような状況で、私もこれでけがしたっていう方も聞いたこともございます。その辺は安全策を取っていただいて、ありがとうございます。

それで、当然、そのロータリーはキャパ的には限界があるので難しいと、そのように思います。それと、当時の答弁では、平成 27 年度予算で詳細設計を行い、平成 28 年度から 29 年度に駅前広場の改良工事を実施したいと考えていますという答弁でしたので、いよいよ改良工事をされるかなというふうな思いでした。私も当時、五位堂駅へ行くたび、植栽の交通島含めた、交通島を気にして見ておりましたが、しかし一向に何の変化もない、全然変わりはない、なぜかなというふうに私も疑問に思っておりました。そうこうしてる間に、私もいつの間にかそういったこともちょっと忘れてきた状況でございました。それで、今回、市民からの声もあり、再び質問することとなりました。

それで、交通島の撤去等ということは、先ほど言わせていただいたように、植栽のあるところだと、そのように思っております。つまり、植栽もなくすということだと思っておりました。今も残っております。それはどうしてでしょうか。

○都市創造部長 先ほども述べましたように、計画のとおり進んでいないことから、植栽含む交通島が現状も残っている状況でございます。

○中村良路 先ほども聞いておりますが、分かりました。

これは幾度言っても仕方ありませんが、前回の質問で答弁されたのは、その時代の堀本部長、今の副市長が答弁していただいたことでございます。平成 28 年度から平成 29 年度に駅前広場の改良工事を実施したいと考えておりますとか、それとか、交通島の撤去等、大規模な改修となる予定でございますというふうな、こういった答弁をいただいております。それで、私は期待しながら、いよいよと、改修されるのだと思っておりました。しかし、先ほども言いましたが、何の変化もない、やっぱり予定は未定だなというので、思わずがっかりをしたところでございます。

それでは、停車車両への啓発、近隣市町村への乗り入れの抑制のための広報紙の掲載依頼等は継続的に進めていきたいというふうに考えておりますという、これも以前の答弁でした。そ

れで、現在も継続はされているのかどうか、お聞かせください。

○都市創造部長 以前の答弁で、近隣市町村への申入れを行うということで、過去には行ったことはございますが、継続して行っていないというふうな状況でもございます。それについては、もうちょっとしっかりと反省した中でやっていくほうがいいのかなどというふうに考えております。しかし、交通量調査の結果には学習塾への送り迎え時に混雑が発生しているとの結果もございましたので、学習塾のほうへ啓発を行ったことはございます。

○中村良路 ありがとうございます。

今の答弁では、市町村への申入れは1度行ったが、継続はしていないということですが、前回の一般質問の答弁では、継続的に進めていきたいという答弁、何度も申し上げますが、答弁でした。それはちょっと違うように思います。そのことは最後に副市長にお尋ねをしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

また、先ほども言われております、また質問させていただきましたが、塾も大いに関連をして、一時停止する要因としては考えられる要素でございます。そこへ啓発に行かれたことは、それはそれで本当によかったかなというふうに私は思っております。

それでは、塾の事業者の皆様にはどのような啓発を提案されたのか、お聞かせください。

○都市創造部長 学習塾として、どこかに駐車場を借りていただけないかというような提案をさせていただきました。また、駐車はなるべくやめていただけるように、キス・アンド・ライドのような形でお願ひできないかなというふうな形で塾のほうや学習塾のほうへ回らせていただいて啓発、提案をさせていただきました。

○中村良路 どうもありがとうございます。努力していただいていることに感謝申し上げます。

当然、塾の生徒の送迎ですから、やはり乗り入れするための駐車場も必要となるのが当たり前かなというふうに思います。

それでは、その提案された分に対してはちゃんと受け入れていただいたのか、お聞かせください。

○都市創造部長 駐車場を借りていただくというような提案もさせていただいたんですけど、この提案には、費用もかかることから、よいご返事はいただけませんでした。学習塾としても、混雑を少なくするために、年に何回かある保護者会において、親御様にロータリー内の車両停止の自粛を呼びかけるビラを配っていただいております。また、特に混雑がひどくなる五位堂駅急行停車時間を避けて授業を終了するようなことは行っているというような回答はいただいております。

○中村良路 分かりました。そういったことで認識はされてるということでございますが、見る限り、効果は限定的なというふうにも考えます。塾ももう少し現状を客観的に判断してほし

と思いますね。また、続けてよろしくお願ひ申し上げます。

そのほか、啓発のほかに何か実施された対策はございますでしょうか。お聞かせください。

○都市創造部長 大規模ではございませんが、小規模な形として、ロータリー内の先ほど質問されていましたが交通島のところに内側に二重駐車がかなり多かったという状況がございましたので、そこについて注意喚起の看板の設置や、バス、タクシー停車場所を明確にするためのカラー表示を行っております。

○中村良路 ありがとうございます。

交通島のところで混雑するというところでございました。区分分けがはっきりして効果が期待されておるとお思います。努力していただいていることに感謝申し上げる次第でございます。

また、注意喚起看板も設置していただいたということで、よかったとお思います。その看板等の設置でそういった効果っていうのは見られたでしょうか。どうか、お聞かせください。

○都市創造部長 バス事業者様からは、看板を設置したことで二重駐車が少なくなったというふうに聞き及んでおります。

○中村良路 分かりました。そういったことで少しずつ改善されてよかったなというふうにお思います。引き続きの啓発よろしくお願ひを申し上げます。

この質問の最後になりますが、このままどうすることもできないので、このままの状況でしか仕方がないのか、それとも解消のための打開策を考えるのか、どちらでしょうか。その辺をお聞かせください。

○都市創造部長 バス事業者様からもこの交通渋滞についてかなり協議させていただいてる中で、来年度については予算措置を行わせていただいた上で、現状の交通量の把握を行った上で、各種関係機関で協議を行って、渋滞解消に取り組みたいというふうにお考えしております。

○中村良路 ありがとうございます。

それでは、駅前の用地がそれでもたくさんあればロータリーを拡幅できますが、現状では根本的な解決はできにくいのかなというふうにも思うところがございます。また、駅前を立体的にして、バス、タクシーと一般車両を分けるということにすれば解消もつなげるのかなというふうにもお思います。しかしそれにはたくさんの建設費が必要になってきます。五位堂駅がいつの時間帯においても混雑しているとなれば資金も投じることもできますが、現在のように昼間の時間帯においては閑散としていますが、混雑ピーク時に達する朝夕の通勤通学時間帯のみ発生するというだけではなかなか多額の建設費用を投入するというのも考えてしまうことにもなるお思います。しかし、利用する市民が安全で安心に利用できるような駅前ロータリーにするためには投資も当然必要でございます。交通量調査をしていただき、把握し、関係機関で協議し、当面の解決策に向けて努力をしていただきたいと、そのようにお願ひをします。これ

についてはまた後ほど、先ほど申し上げましたが、副市長に答弁をお願いしたいと思います。

「地籍調査について」

○中村良路 それでは次に、地籍調査についてということで質問させていただきます。

これも以前質問させていただいたとおりでございます。災害はいつ来るか分かりません。阪神・淡路大震災や東日本大震災では多くの命や財産を奪い去りました。この出来事は忘れることはできません。そこで、今後必ず発生すると言われております南海トラフ大地震でございます。このことを踏まえて、やはり財産を守るためにも地籍を確定しておく必要がございます。

まず最初に、地籍調査という基本的な意味については、地籍調査は国土調査法に基づく国土調査の一つとして実施され、主に市町村が主体となって、1筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のことで、そういったことで間違いございませんでしょうか。

○都市創造部長 議員お見込みのとおりでございます。

○中村良路 平成 28 年度から平成 29 年度の 2 か年をかけて、法務局により、北今市地区において 14 条地図作成業務が行われ、完了しておりますが、香芝市の地籍調査の状況と進捗率をお聞かせいただきたいと思っております。

○都市創造部長 香芝市の地籍調査の状況といたしましては、昭和 52 年度より、鎌田、良福寺地区から調査を始め、狐井、磯壁、五位堂、別所、瓦口、下田、五ヶ所、藤山、本町を経て、昭和 62 年度の畑地区までの合計 12 地区が調査完了しております。進捗率につきましては 42.8%でございます。続いて、昭和 61 年度から 62 年度にかけて、穴虫地区において測量及び地図作成を行ったところですが、完了までには至っておらず、昭和 63 年から休止となっております。先ほどのご質問にもありました法務局が行いました北今市地区と合わせて 13 地区が調査完了しております。

○中村良路 ありがとうございます。

北今市含め、13 地区が調査完了ということで、進捗率は 42.8%、やっと市内の半分近くの地区が完了できたということですが、まだ半分の地区が残っております。先ほどの答弁でも昭和 63 年から穴虫地区で休止となったということで、私も前回と 1 回目の質問をさせていただいたわけですが、近々に北今市も測量していただきました。28 年間のそういった空白期間が本当に大きな市民にとっても損失であったかなというふうには思うところがございます。

穴虫地区は完了まで至ってないということですが、改めて、香芝市の今の地籍調査業務の状

況はどのようになっておるのか、お聞かせください。

○都市創造部長 本市における地籍調査については、先ほども答弁させていただきましたけど、現在休止中ではありますが、地籍調査成果地区内の異議申立てに対応すべく修正業務を行うとともに、成果品の資料の情報提供等を行っているところでございます。

○中村良路 それでは、引き続きよろしくお願いを申し上げます。

それでは、これからの事業化に向かって、市としての考え方をお聞かせください。

○都市創造部長 東日本大震災においては被災地域の多くが地籍調査実施済みであったことから、迅速な復旧につながる事ができたと聞き及んでおります。このように、震災の被害の大きさを目の当たりにし、復旧復興事業における地籍調査の有益性が実証されたことが大きな要因と考えております。本市においても地籍調査の検証を再度行ったところ、有益性があるとの判断から、来年度より事業の再開を考えております。

○中村良路 ありがとうございます。

東日本大震災におきましては、地籍調査が実施されているので迅速な復旧につなげられ、有益性が実証されたというふうに先ほど答弁いただきました。

ということで、本市も有益性があるとの判断により事業を再開するとの答弁でございますが、それでは、どの地区の調査を進めていかれるのか、お聞かせください。

○都市創造部長 平成 28 年、29 年度に法務局が行った北今市地区に接しております高地区の調査を考えております。

○中村良路 高地区ということで、その高地区、調査するとなれば地元自治会の多大な協力が必要と考えますが、自治会としては了承していただいているかどうか、お聞かせください。

○都市創造部長 自治会様には地籍調査の内容を説明させていただき、了承を得ております。

○中村良路 分かりました。

それでは、調査完了までには一体どれぐらいの期間を要するのか、お聞かせください。

○都市創造部長 現在考えているのは、令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 か年と考えてございます。

○中村良路 よろしくお願ひします。

それでは、奈良地方法務局は北今市地区で行われた 14 条地図作成は他の場所での調査を行わないかどうか、お聞かせいただきたいと思ひます。

○都市創造部長 法務局といたしましては、北今市地区のみと聞いておりましたが、令和 4 年度に市から要望があれば他の地区も検討するとの回答をいただいておりますので、市といたしましては奈良地方法務局に対して再度要望をしていこうというふうにかけております。

○中村良路 再度要望よろしくお願ひをいたしたいと思ひます。

なお、14条地図というのは登記所に備えられている地図で、不動産登記法第14条第1項の項目によってそれを作成されております。14条地図は正確な測量に基づいて、筆ごとの土地について、その区間と地番を明確に表示している。また、法14条地図は復元能力があるともされております。それは図面が座標を持つてということから精度が高いというふうにされておる地図でございます。繰り返し申し上げますが、有事の際の復元には必要な調査ですので、全ての地区の早期調査を進めていただきたいと思います。

それでは最後に、副市長に取りまとめて、渋滞する五位堂駅北側のロータリー解消策についてと今後の地籍調査についてのご意見をお聞きするとともに、特に五位堂駅北側ロータリーの改修工事で、平成27年度予算で詳細設計を行い、平成28年度から29年度に駅前広場の改良工事を実施したいと考えていますということで、基本的な考えとしては、バスの乗降位置やタクシー待機位置の変更、動線分離による歩道の一部改良、交通島の撤去、大規模な改修となる予定でございますというふうな答弁をその当時いただいております。それと、停車車両の啓発、近隣市町村への乗り入れ抑制のための広報紙の掲載依頼等は継続的に進めていきたいというふうに、それも考えておりますというふうな前向きな本当に答弁をいただいたというふうに思っております。このことについても少しお聞かせいただきたい。というのは、その当時こういった答弁いただいて、私も実は喜んでおりました。しかしながら、現実的にはしてないという結果でございます。その辺も踏まえて、ちょっと副市長のほうから答弁を願いたいというふうに思います。お願いします。

○副市長 議員のご質問の中でもございますように、平成26年から平成28年度まで都市創造部長をさせていただいてございまして、そのような答弁をした記憶もございます。

その中で計画策定をしてございましたけれども、最終的にロータリーを広げてレーン数を増やしたり、絵を描いたわけでございますけれども、最終的に地元調整を行った中で、それがかなわず、最終的にバリアフリー工事に至ったというふうには確認をしております。改めまして、渋滞解消につきましては、地元調整も含め、改めまして交通量の現況把握を行い、関係所管と協議を進めながら、改善策を模索していきたいというふうには考えてございます。

次に、地籍調査につきましては、本市におきましても有益性がある事業と認識しておりますので、未実施地区につきまして計画的に行っていきたいと考えております。また、奈良地方方法務局に対しても、不動産登記法に基づく調査の実施を引き続き要望してまいります。

○中村良路 よろしく申し上げます。

私が申し上げるのも、やはり期待をしていた、そういったニュアンスの答弁だったので、今回もこの質問をさせていただき、再度確認をさせていただいたこととでございます。しかし、議員が、こうして私たちが質問するに当たって、やはりしてほしいから質問する、その質問に対

して、やはりできるような、そういったニュアンスの回答であつたら期待するわけでございますから、その辺は、やはり質問した人に対してかて、これはできなかったんですよという事情なども含めて、やはり後のフォローをしていただきたいというふうに思います。それをお願いいたしまして、私の一般質問とさせていただきます。ありがとうございました。